

○ブルキナファソとニジェールで、再びキリスト教徒への攻撃。死者4人、負傷者1人○

Zenit —2019年5月13日。

アフリカ西部でのキリスト教徒へのテロが続いている。昨日2019年5月13日ブルキナファソで4人が殺害され、ニジェールでは一人の司祭が重傷を負った。

ブルキナファソの中北部にあるシムテンガ州の町シンガで聖母行列に参加した後、4人の信者が殺害された。その前の日曜日12日には、同州のダブロでミサの間にテロが起こり、シメオン・ヤマパ神父と5人の信者が殺害された。

(注、この事件については、以下を参考)

<https://jp.reuters.com/video/2019/05/14/burkina-faso-bury-dead-after-latest-chur?videoId=549982417>

カヤの司教

最近のこのようなテロについて、同国のカヤ司教テオフィル・ナレ師は、「苦しむ教会の援助」の電話での取材に応じ、3月17日に始まった同国でのキリスト教徒への暴力がエスカレートしていると非難した。

同司教はさらに、これらのテロの首謀者は正確には不明だが、事件が宗教と関係していることは明らかだと言う。「ダブロでは、他の攻撃と同じく、被害者たちは『真の宗教、つまりイスラーム教を信じないので殺す』と言われた」と。そして教会の聖櫃を銃で撃った。ブルキナファソではキリスト教徒はイスラーム教徒に比べて、ほんの少数派にすぎない。

ニジェール

昨日、5月13日、二人の男がドルベルの教会（ニアメ教区）に侵入し、教会の司祭は手と足に傷を負った。

通信社 Fides によると、「その教会と司祭たちに対しては、ここ何年も脅迫がなされていた。この事実はブルキナファソとの国境地帯の治安が悪化していることを確認するに過ぎない。治安部隊はこの新しい仕方のテロ攻撃に対してなすすべを知らないように見える」。

同じ日に、Koutoukalé の警備の厳重な監獄が狙われ、下士官一人が殺され軍用車が一台盗まれた。他の襲撃員たちはマンゲゼで倉庫にあった通信機器をすべて奪い去った。

このほか、ニジェールでは2018年9月17~18日の夜に拉致された Pier Luiji Maccali（SMA の宣教師）の行方が未だに分かっていない。

○教皇フランシスコ、迫害下のキリスト教徒について「沈黙の内に命を捧げている」○

Zenit —2019年5月28日。

ブルキナファソでの新たな教会へのテロを見て、教皇フランシスコは5月27日にツイッターで次のように言った。「現在でも多くのキリスト教徒が、キリストへの愛のために迫害され殺されています。沈黙のうちに命を捧げています。なぜならその殉教はニュースにならないからです。しかし、今日、初代教

会の頃よりも多くの殉教者が出ています」と。

教皇はこのような状況を、サンタ・マルタでの毎朝のミサや日曜日のアンジェラスの祈りの時に何度となく非難した。例えば、2016年12月、「信仰における無数の兄弟や姉妹がイエスのために不正や暴力に苦しみ、憎まれています。一つ言いましょ。今日の殉教者は初代教会の時代より数が多いのです。ここローマでの殉教の歴史を読むと、キリスト教徒に対する残酷な仕打ちを見せられます。このキリスト教徒に対する残酷な仕打ちは今もあり、その数は昔より多いのです」と。

5月26日、ブルキナファソのトキネ村の教会でミサの途中でテロがあり、4人が死に、2人が負傷した。

* * * *

ブルキナファソ（首都、ワガドゥグー）

*人口は約1919万（2017年）

*宗教別内訳では、イスラームが60%、ローマ・カトリックが19%、アニミズムが15%、プロテスタントが4%（Wikipedia、『ブルキナファソ』より）。

ニジェール（首都はニアメー）

*人口は約2148万人（2017年）

*宗教別では、イスラームが90%で、そのほかキリスト教徒やアニミズムが少数。



破壊されたブルキナファソの教会